

2021年（令和3年）



個室ユニット 推進協ニュース7月臨時号

【発行】一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 171-1 TEL：045-921-0462 / FAX：045-921-0472

2年ぶり ユニット議連と勉強会



小島議員（左）と司会進行する中村事務長（右）

勉強会には個室ユニット議連から石原会長や宮澤博行副会長、司会の中村裕之事務長ら約20名



石原会長に要望書を手渡す赤枝会長

推進協 コロナ・報酬改定を要望 選挙を見据え政治連盟とも連携

6月8日、2年ぶりに自民党個室ユニットケア推進議員連盟（個室ユニット議連、石原伸晃会長）と全国個室ユニット型施設推進協議会（推進協、赤枝眞紀子会長）の勉強会が東京都内のホテルで開かれた。赤枝会長はコロナのかりまし経費の補助や次期改定での基本報酬の引上げなどについて要望書を提出し、衆参選挙に向け政治連盟とも連携して応援したいと話した。また、稲庭千弥子副会長が「個室ユニットはコロナ感染拡大防止に有効だ」と、コロナ感染状況の緊急調査結果を示して、ユニット型の優位性を強調した。

（代理含む）、推進協からは赤枝会長や稲庭副会長ら5名が出席、14名の理事がオンラインで傍聴した。また、要望事項に対する回答や説明者として、厚労省老健局の須藤明彦高齢者支援課長や平子哲夫老人保健課長らが出席した。石原会長は冒頭の挨拶で4月に逝去した推進協の前会長赤枝雄一氏の功績を改めて讃え、共に黙祷により哀悼の意を表した。今回、会長として初めて議連総会に臨んだ赤枝会長は冒頭あいさつで「近い将来、個室ユニット型と言う名称を使わなくても、



佐々木代表

稲庭副会長は、長年の経験や推進協の緊急調査結果を織り交ぜ、「コロナでは個室ユニットが感染の拡大防止の観点から非常に有効である」と話した。石原会長は「コロナ禍では集団での生活がクラスター発生につながる。そういうことを考えても、世の中を着実に個室ユニット



稲庭副会長

ユニットは拡大防止に有効

併せて、コロナのかり増し経費補助や実質的には上がらなかった基本報酬の次期改定での引き上げ、LIFEでのユニットケアの評価策などを緊急要望した。Ⅱ別表参照。



オンラインで傍聴する14名の理事

要望事項（趣旨）	厚労省回答概要
義務的業務の追加（14項目）は報酬とセットで	サービスの質の確保、向上と言う観点から改正。一定の経過措置を設けた。
テクノロジー活用とサービスの質向上はセットで	ご指摘の通り。両輪でしっかりと進めていくことが重要と認識。
ユニットリーダー研修の暫定措置解除と体系化	解除は困難だが、ユニットリーダーはユニットケアの質の向上に重要。引き続き、研修事業の促進に取り組みたい。研修の体系化は必要と認識。
特養入居要件（要介護3以上）緩和を	自治体の地域差をとらまえ、今後の施設の在り方を検討したい。
基本報酬の引き上げ	基本報酬は原則上げた。併せて、食費を1日50円増、LIFEの関係の加算も創設。
LIFEの評価指標の開発を	LIFEの評価指標の開発は、科学的裏付けに基づく介護に係る検討会で検討している。
サービス提供体制強化加算は無資格職員に配慮を	介護福祉士の割合が高い事業所を評価するためのもの。従前の加算は見直していない。

※要望書全文と緊急調査結果は推進協ホームページの会員専用ページに掲載。

ト推進にしていかなければならない」と応じ、ユニットの必要性を強調した。

政治連盟と連携して支援

赤枝会長は今年来年と続く衆参選挙に向け、推進協と表裏を成す全国個室ユニット型施設推進政治連盟（政治連盟）とも連携して、個室ユニット議員の応援に努める決意を述べた。これを受けて佐々木亀一郎政治連盟代表は今後の活動について、推進協と連携して一層の支援をしていくことを表明した。

議員からの質疑応答

議員からの主な質疑と厚労省の回答は以下の通り。

▽宮澤博行衆議院議員「個室ユニットは利用者の孤立化を招くという反論を国会議員から聞いた。違和感を覚えるが実際はどうなのか」↓【厚労省】「個室ユニットが孤立化を招くという

意見は聞いたことが無い」【稲庭副会長】「ユニット型の制度化にも携わったし、ユニット型施設も長年経営しているが、孤立化を招くということはない」

▽小島敏文衆議院議員「国から介護現場に衛生材料は送っているといるが、今後も続けてやっていくのか」↓【厚労省】「続けていきます」

▽三宅伸吾参議院議員「空いている特養を使わないのはもったいない。有効活用するのが当たり前ではないか」↓【厚労省】「地域の実情を考慮しながら、特養の有効活用の検討を進めたい」

▽自見はな参議院議員「LIFEについてはぜひ進めてほしい」



自見議員

ユニットケアを社会に広く浸透させる(赤枝会長)

社員総会・理事会を開催新体制を構築

第16回社員総会 赤枝会長事業方針を明示

6月23日、推進協(赤枝真紀子会長)はオンライン形式で第16回社員総会および21年度第3回理事会を開催した。社員総会では20年度の事業報告及び決算報告と役員選任など2議案を了承し、委員会委員や支部長の選任を行ったことなど報告した。新たに稲庭千弥子理事(友遊会理事長)を副会長に加えるなど新体制を構築し、ユニット型個室の一層の推進と浸透を図るための事業方針を表明した。また、第3回理事会では、赤枝会長の代表理事再任を了承した。



赤枝真紀子会長

6月23日、推進協の第16回社員総会と理事会がオンライン形式で開催された。

会長として初の総会となった赤枝会長。冒頭の挨拶で「個室ユニット型施設を一層推進し、ユニットケアを社会に広く浸透させることを今後の大きな目標とする。そのために稲庭理事を副会長に迎え、新体制を構築することとした」と決意を述べた。

また、4月1日に死去した夫赤枝雄一氏の病院での看取り経験を踏まえ、「最期の時まで一緒にいられる個室ユニット型の良さを活かし、やさしさと思いやりのあるケアを指してほしい」と語った。

赤枝会長の決意表明(要旨)

▽少子化による人材不足
国家財政上のリスク等、介護保険を取り巻く社会情勢は介護事業者の将来を楽観視できないものではない。不満足な内容となった4月の報酬改定等については、ユニットケア推

【報告事項1・事業計画及び収支予算】8月31日(火)、新規事業「ユニットケア完全実施決議大会」をオンラインで開催予定。

《大会の開催主旨》4月の報酬改定が15人定員ユニット整備に道を開くと共に、LIFEの導入や効率化推進の方向性から見て、ユニットケアがおさなになりつつあることを踏まえ、個室ユニット型施設の整備目標達成に向けた一層の整備推進やユニットリーダー研修受講者の完全配置を求めた決議を行う機会とする。会員に限らず多様な応援の協力を求める。

入会10年 42施設を表彰



浦之谷 謙二 氏の価値を再認識したと語る神崎

入会10年を迎えた42施設を表彰した。代表として神崎浦文三理事長(秀峯会・きじの里へ長崎)は「コロナ禍での看取り期の面会など個室ユニットの最大の利点を活かすことができ、改めてその価値を知った。今後も個室ユニット型施設の推進と質の高いサービスに見合う報酬獲得に会員の一人として努めていきたい」と挨拶した。

社員総会 事業計画など承認

社員総会では、20年度事業報告及び決算報告など2議案を承認。また、21年度の事業計画及び収支予算など2事項の報告を受けた。

【第2号議案・役員改選について】(退任理事)▽赤枝雄一氏(死去)▽柿本貴之氏▽日野頌三氏

▽若月剛一氏(いずれも任期満了)。(新任理事)▽今千尋氏(函館大庚会・常務理事)▽近石千恵美氏(登豊会・岐南仙寿うれし野施設長)▽森山朋子氏(榮慈会・理事長)▽若月剛治氏(春生会・あさひが丘施設長)。

理事会 赤枝代表理事再任

社員総会に続いて理事会が開催され、赤枝真紀子代表理事の再任および介護保険委員に森山憲克氏(らくじ会グループ・統括施設長)、研修委員に澤田重徳氏(燦燦・副施設長)の追加選任を了承した。

タウンミーティング

推進協は4月から6月にかけて、会員対象にタウンミーティングをブロック別に4回開催し、28施設、48名が参加した。

介護現場の課題の意見を集約し、次期介護報酬改定の議論が始まる令和5年4月までに取りまとめる。次期報酬改定は6年サイクルの介護・診療の同時改定。今年度の改定が小規模だった反動で大規模な改定が見込まれる。早期に検討の土台を組織内部に作っておくことが狙い。

同時改定では法律の重要部分に関する制度改正も実施されることが多く、介護事業者は大きな影響を受けがちだ。厳しい国内

入会施設のご紹介

◆すこやか苑(特養)

支部名 青森支部
法人名(福) 青森県すこやか福祉事業団
法人代表者 理事長 本堂一作
施設代表者 施設長 千葉伸子
住所 青森市浜館間瀬85の6

◆くるーぷほーむ「かさか」

支部名 秋田支部
法人名(医) 寿光会
法人代表者 理事長 佐々木亨
施設代表者 係長 柳沢知世子
住所 鹿角郡小坂町小坂上前田16番地11

◆雅荘(特養)

支部名 茨城支部
法人名(福) ほほえみ会
法人代表者 理事長 平澤雅男
施設代表者 施設長 菊地広志
住所 つくばみらい市福岡1199

◆グリーンヒル八千代台(特養)

支部名 千葉支部
法人名(福) 翠輝会
法人代表者 理事長 津川恵美子
施設代表者 施設長 日高和枝
住所 八千代市八千代台西7-2-69

◆羽沢の家二番館(特養)

支部名 神奈川支部
法人名(福) さくら会
法人代表者 理事長 平本剛士
施設代表者 施設長 平本剛士
住所 横浜市神奈川区羽沢町1667-1

◆グランドオーク百寿(地域密着)

支部名 大阪支部
法人名(福) よしみ会
法人代表者 理事長 中辻祥代
施設代表者 施設長 山口大輔
住所 堺市南区茶山台3丁22-11

◆希望(地域密着)

支部名 熊本支部
法人名(福) 龍峯会
法人代表者 理事長 坂田礼子
施設代表者 施設長 坂田礼子
住所 八代市興善寺町495番地1

◆美晴が丘(地域密着)

支部名 大分支部
法人名(福) 孝寿福祉会
法人代表者 理事長 伊藤恭
施設代表者 施設長 伊藤寿和子
住所 竹田市直入町長湯9067番地4

個室ユニット 感染拡大防止に効果あり

推進協・新型コロナ緊急アンケート

全国個室ユニット型施設推進協議会は会員施設を対象に新型コロナの感染状況に関するアンケート調査を実施した。その結果、感染は協力ユニットまでは広がるが広がらず、それ以上の感染拡大は無かった。個室ユニットは感染拡大防止に効果があることがわかった。

新型コロナの発生状況を把握するため、会員施設を対象に6月上旬にアンケートを実施した。回答施設数は151施設、有効回答率は39.2%。

感染拡大は協力ユニットまで

新型コロナウイルスが発生した施設数は151施設中34施設、そのうち「ユニットを超えて感染が拡大した」4施設にヒアリングしたところ、感染は隣接する協力ユニットまでで、それ以上には拡大していなかったことがわかった。懸念事務局長は「ユニット型は感染拡大を防止するのに適した施設であることを改めて証明できた」と話している。

施設内感染者(入居者・職員の計)	施設数	比率
0人	117	77.5%
1~5人	29	19.2%
6~10人	1	0.7%
11人以上	4	2.6%
総計	151	

感染の範囲について	施設数	比率
ユニットを超えての感染	4	2.9%
協力ユニットを超えての感染	0	0%

アンケートにご協力いただきありがとうございます。調査結果の詳細は会員専用ページに掲載しています。